て各幹事へチケット等が配布され、より多くの参加者を募るために協力をお願いしました。卒業から二十四年後に、一生に一度経験する、総会・懇親会の担当幹事は忘れた頃にやってくる大役です。たとえば応援団がすでに在学中から存在せず、先輩から習い後輩へと引き継がれているのが現状です。

人も物も、すべてが変化していく時代ですが葉商会は伝統を守ってきました。

しかしながら、伝統を守りながらも改革を進める時期ではないかと考え、代表幹事会において重点事項として審議して頂いたのが「将冠について」でした。

さて、一年間を振り返りますと色々とありました。熊本地震。都知事に小池百合子氏。ポケモンＧＯの世界的流行。アメリカ大統領にドナルド・トランプ氏。リオ五輪で男子四〇〇メートルリレー、初の銀メダル獲得。豊洲の盛り土問題。ＰＰＡＰが世界で爆発的に広まる。など様々なニュースに振り回され、事件や事故は人々を辛く悲しくさせました。原稿を書いている今も、北朝鮮情勢のニュースが流れていて「戦争」の二文字が耳に障ります。しかし笑顔にしてくれたニュースもたくさんありました。フィギュアスケートの浅田真央選手のニュースは、世界中の人が感動と「ありがとう」を共有しました。

いつの時代も、こんな時代も夢を持って母校を巣立って行く後輩たちと、同じ学舎の仲間として、母校を想い集う事が出来ればと願っています。

最後になりましたが、葉商会会員の皆様のご活躍とご多幸を祈念申し上げますと共に、母校のますますのご発展と在校生の皆さんが凜々しく成長される事を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

「将冠」について
紙媒体からｗｅｂサイトへ

機関誌「将冠」は、四月二十三日の代表幹事会において審議の結果、ｗｅｂサイトへ移行する承認をいただきました。苦渋の選択と決断でしたが、代表幹事の皆様のご理解を得られた事に深く感謝申し上げます。

まずは、費用対効果が高まるように葉商会の運営に務めたいと思います。